



世界最大規模のスーパーコンピュータの学会である Supercomputing 2010 (SC10) が、2010年11月13日より1週間の日程で開催された。本学会は1988年のフロリダ州オーランド市での開催を嚆矢とし、以降米国の諸都市で毎年開かれているものである。学会参加者は大学の研究者・教育者、企業関係者等で、その参加人数は約10,000人にも上る。23回目となる本年はルイジアナ州ニューオーリンズ市、Ernest N. Morial Convention Centerでの開催であった。

SCでは国際学会としての Technical Programに加え、企業や大学等研究機関が最新の研究成果、製品展示を行う場である Exhibitsも催される。Technical Programにおいては、高性能計算、コンピュータアーキテクチャ、クラウドコンピューティングなどといった幅広い分野から計51の技術論文、64のポスター展示が採択され、活発な議論が行われた。また本年は Climate Simulation, Heterogeneous Computing, Data Intensive Computing の3つが推進分野として掲げられ、それぞれの推進分野を代表する Terry Davies, Bill Dally, Bob Jones の3氏を招いての招待講演が行われた。加えて著書「イノベーションのジレンマ(邦題)」などで知られる Clayton M. Christensen 氏による基調講演も行われた。一方の Exhibits では約36,000 m<sup>2</sup>という広大なスペースの中、33の初参加団体を含む全308団体がブース展示を行った。

私たち東北大学流体科学研究所では、同じく東北大学に所属する金属材料研究所、サイバーサイエンスセンターとともに3機関合同で、研究展示と GCOE プログラムの紹介を行った。研究展示を通して、諸外国からの来場者に対し本研究所における最新の研究成果を紹介するとともに、スーパーコンピューティングにおける昨今の傾向や問題点について議論する素晴らしい機会を得た。

